

箕面市の健康指標

(健康診査と医療費の状況)

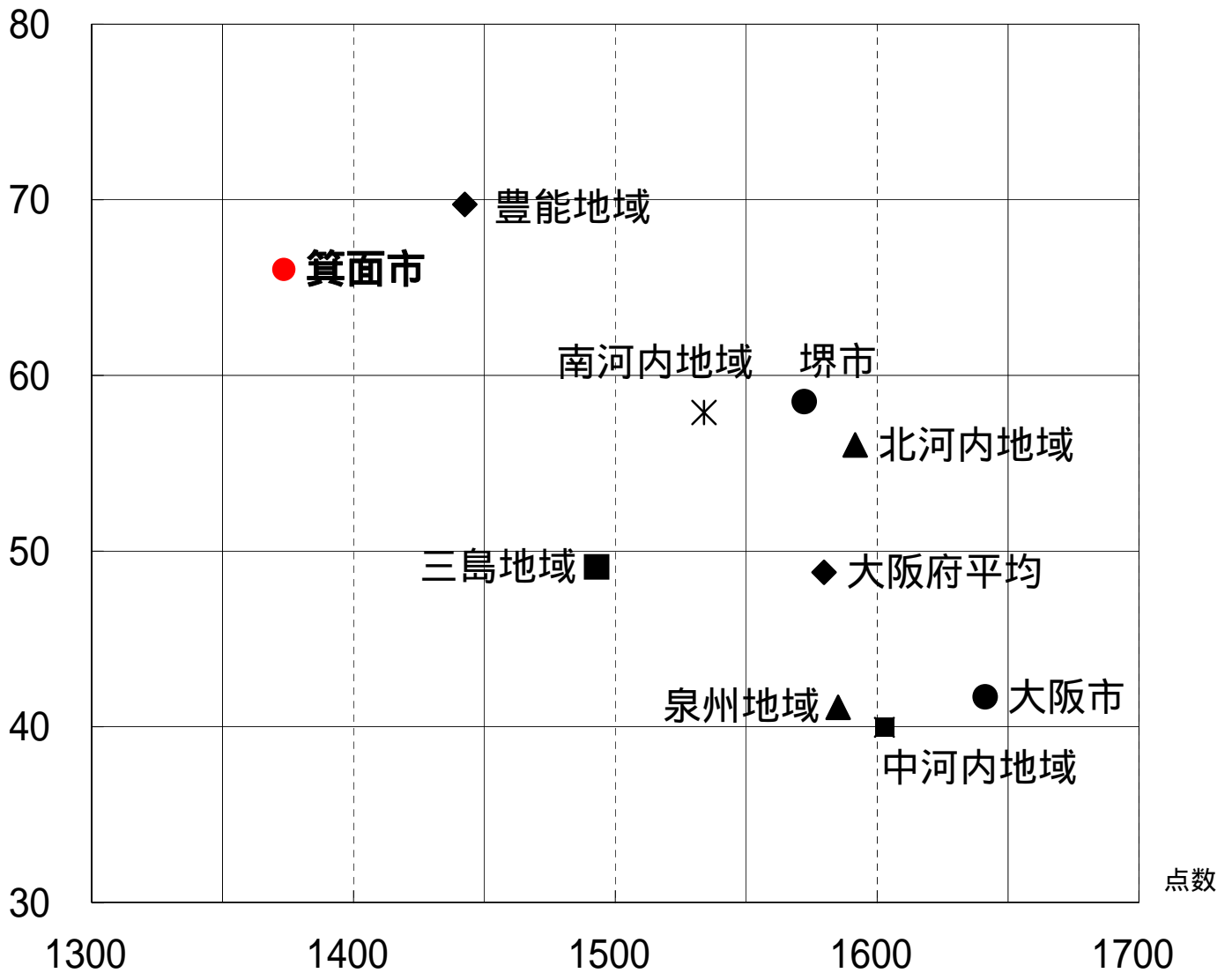
基本健康診査受診率(医療圏別)と1件あたりのレセプト点数(外来)

基本健康診査受診率の経年推移(北摂7市3町・医療圏別)

各種がん検診平均受診率経年推移(北摂7市3町・医療圏別)

糖尿病の1件あたりの日数と1日あたりの点数

受診率(%) 基本健康診査受診率(医療圏別)と1件あたりのレセプト点数(外来)



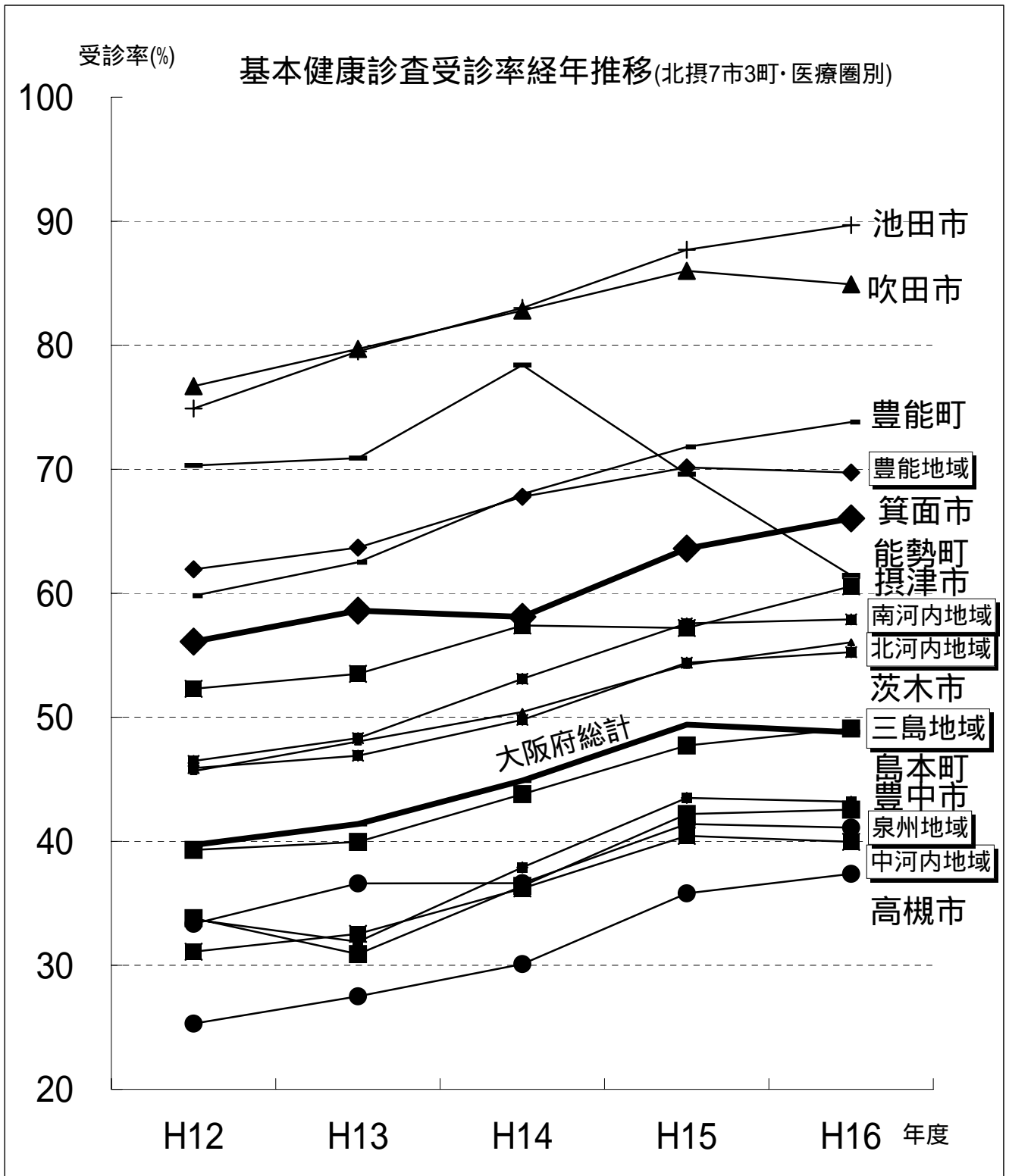
この散布図は、基本健康診査受診率と2次医療圏毎の医療費の相関関係を表したものである。基本健康診査の受診率は平成16年度を、医療費については大阪府国民健康保険の平成18年5月診療報酬分の医科入院外(外来)で一般・退職・老人のレセプトを合計した1件当たりの診療報酬に基づく点数を使用した。

これによると、基本健康診査受診率と医療費の相関関係は-0.77であり、相当のマイナスの相関関係が認められた。つまり、受診率が高いと医療費は下がるという傾向が認められる。

なお、箕面市の平成18年5月医科入院外(外来)診療報酬点数は、1,373.4点で基本健康診査の受診率66.0%であり大阪府内で最も低い診療報酬点数(医療費が低い)となっている。次いで吹田市が1393.9点で受診率84.9%、豊能町が1,415.0点で受診率73.8%となっている。

[2次医療圏の構成市町村]

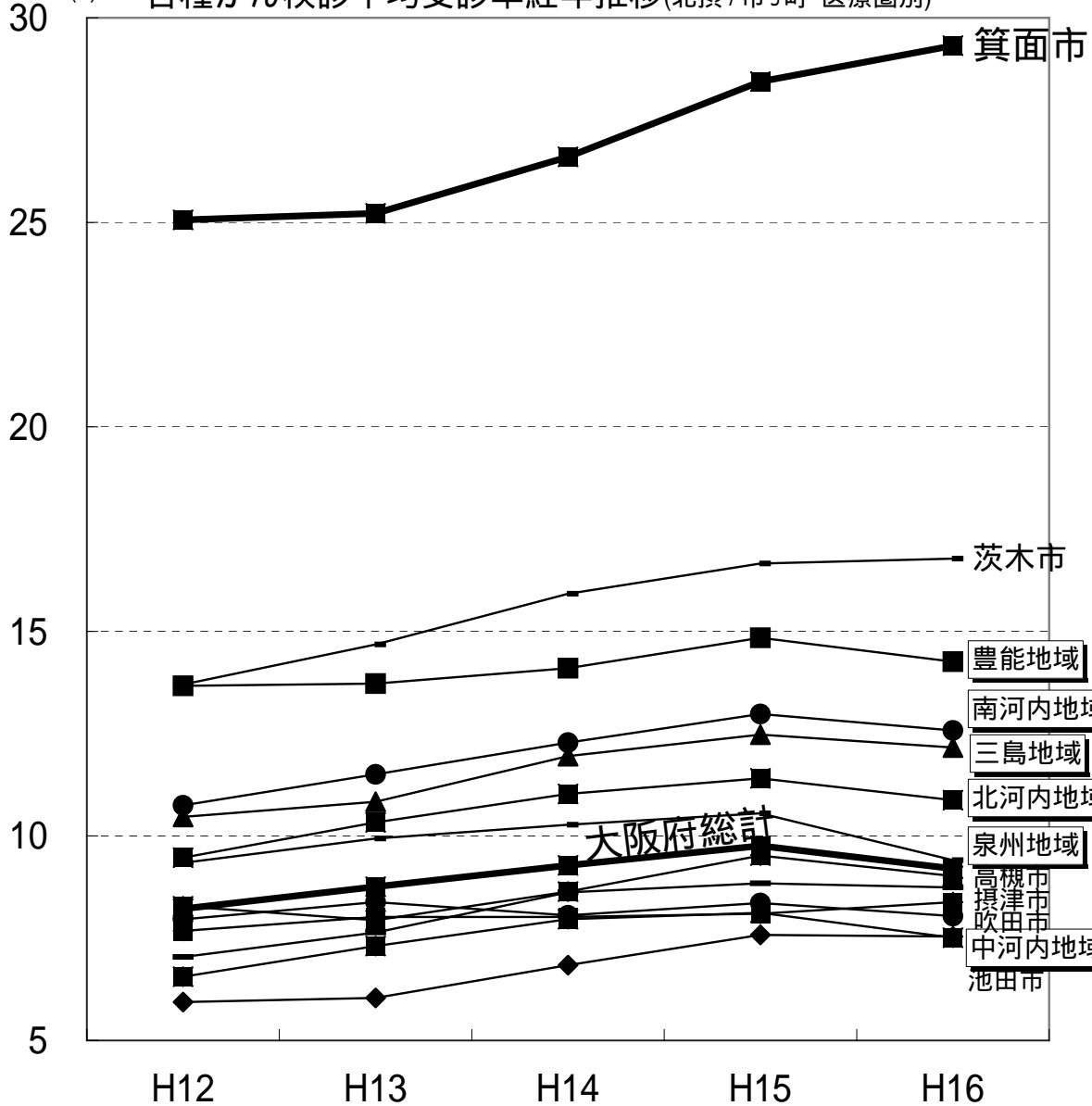
豊能地域	豊中市、吹田市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
三島地域	高槻市、茨木市、摂津市、島本町
北河内地域	守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四条畷市、交野市
中河内地域	東大阪市、八尾市、柏原市
南河内地域	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、大阪狭山市
泉州地域	岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、忠岡町、熊取町、阪南市、岬町



基本健康診査について、北摂7市3町及び2次医療圏別に受診率を平成12年度から平成16年度までの年次推移を示した。これをみると、平成15年度まで全ての医療圏において増加傾向であったが、平成16年度では南河内、泉州の医療圏において減少した。基本健康診査の実績は、大阪府内において、平成16年度で対象者数1,575,162人、受診者数768,601人、受診率は、48.8%であり、前年度と比較して、0.6ポイント減であった。受診率が高いのは順に、池田市(89.7%)、吹田市(84.9%)、大東市(82.5%)、四條畷市(76.0%)、豊能町(73.8%)であり、本市は66.0%で7番目となっている。受診率が低いのは順に、阪南市(29.0%)、岬町(30.2%)、泉南市(30.3%)、交野市(31.6%)、枚方市(32.3%)、高槻市(37.4%)であった。

次に、各医療圏別に受診率をみると、本市を含む豊能地域が65.6%、三島46.3%、北河内51.0%、中河内39.5%、河内54.3%、堺市58.5%、泉州41.8%、大阪市41.7%であり、医療圏間で最大26.1ポイントの格差が見られた。

受診率(%) 各種がん検診平均受診率経年推移(北摂7市3町・医療圏別)



大阪府内平成16年度において、胃がん検診については、受診率が高い順に、箕面市(30.3%)、田尻町(24.1%)、河内長野市(20.9%)、能勢町及び河南町(20.3%)であり、受診率が低い順に、大東市(2.0%)、八尾市(2.5%)、高槻市及び四條畷市(2.8%)、柏原市(3.4%)であった。

大腸がんについては、同様に箕面市(37.9%)、茨木市(31.8%)、田尻町(25.3%)、河南町(24.9%)、岸和田市(24.8%)であり、低い順に門真市(2.5%)、高槻市(3.2%)、四條畷市(3.3%)、柏原市(3.5%)、泉大津市(3.7%)であった。

肺がん検診については、能勢町(39.1%)、太子町(38.1%)、千早赤阪村(37.6%)、箕面市(36.5%)、守口市(36.5%)、河南町(32.7%)であり、低い順に東大阪市(0.8%)、吹田市(1.6%)、大東市(1.7%)、大阪市(2.7%)、四條畷市(3.3%)であった。

子宮がん検診については、田尻町(19.7%)、守口市(19.1%)、箕面市(17.8%)、高石市(16.9%)、四條畷市(16.7%)であり、低い順に、摂津市(4.0%)、岬町(4.6%)、阪南市(5.3%)、大阪狭山市(5.4%)、泉南市(6.4%)であった。

乳がん検診については、箕面市(24.1%)、守口市(15.9%)、河内長野市(15.1%)、河南町及び千早赤阪村(13.4%)であり、低い順に、摂津市(2.9%)、泉南市(3.4%)、松原市(3.8%)、忠岡町(4.5%)、岬町及び池田市(4.6%)であった。

これらの各種検診の平均値を出し経年にグラフ化してみた。これを見ると、各市(医療圏)とも受診率が低位で推移しており、近年は横ばいまたは低減傾向が見られるが、本市においては、受診率において他市を大きく上回っており増加傾向である。

糖尿病の1件あたりの日数と1日あたりの点数

	計		入院		外来	
	1件当りの日数	1日あたりの点数	1件当りの日数	1日あたりの点数	1件当りの日数	1日あたりの点数
箕面市	2.2	1,013	18.0	2,815	1.9	976
泉大津市	2.5	1,065	15.7	3,627	2.2	1,010
守口市	2.7	1,072	16.3	2,990	2.3	1,024
島本町	2.1	1,072	17.5	3,583	1.9	1,034
吹田市	2.3	1,099	15.8	2,795	1.9	1,044
阪南市	2.1	1,107	15.3	2,591	2.0	1,093
柏原市	2.7	1,108	15.9	3,069	2.3	1,050
能取町	2.4	1,112	20.1	2,459	1.8	1,071
泉佐野市	2.7	1,129	17.4	2,612	2.3	1,084
東大阪市	2.7	1,151	16.8	2,989	2.3	1,108
寝屋川市	2.4	1,154	18.1	2,735	2.1	1,120
岬町	2.4	1,159	14.4	2,719	2.1	1,122
茨木市	2.6	1,162	18.4	2,544	2.1	1,122
豊中市	2.4	1,176	16.2	3,082	2.0	1,127
摂津市	2.5	1,182	17.5	3,145	2.0	1,122
大阪市	2.9	1,185	17.4	3,075	2.4	1,122
和泉市	2.4	1,190	17.7	2,673	2.1	1,162
羽曳野市	2.3	1,197	14.0	4,313	2.0	1,122
池田市	2.4	1,198	14.3	4,620	2.0	1,079
泉南市	2.6	1,202	19.5	3,132	2.2	1,156
高石市	2.5	1,203	18.3	3,677	2.0	1,128
河内長野市	2.4	1,208	16.9	2,886	2.1	1,175
枚方市	2.5	1,212	18.0	2,745	2.1	1,167
高槻市	2.4	1,216	16.2	3,600	2.1	1,156
松原市	2.3	1,221	14.7	2,580	2.0	1,188
八尾市	2.4	1,226	14.8	3,494	2.0	1,164
貝塚市	2.6	1,229	18.3	4,591	2.0	1,100
忠岡町	3.0	1,232	20.8	4,796	2.2	1,088
門真市	2.7	1,239	19.3	2,502	2.3	1,211
堺市	2.5	1,262	17.4	3,476	2.1	1,204
岸和田市	2.4	1,303	18.1	3,367	2.0	1,251
藤井寺市	2.4	1,315	18.2	2,902	2.1	1,283
田尻町	2.6	1,318	16.8	2,129	2.2	1,294
太子町	2.0	1,318	2.5	7,816	2.0	1,234
交野市	2.2	1,333	17.4	2,508	1.9	1,313
千早赤阪村	2.2	1,339	8.7	3,347	1.9	1,264
豊能町	2.0	1,349	11.4	2,919	1.7	1,309
大東市	2.8	1,392	16.1	3,285	2.2	1,313
四條畷市	2.6	1,429	18.4	3,568	2.1	1,355
大阪狭山市	2.2	1,439	16.8	2,762	1.9	1,411
富田林市	2.2	1,546	16.9	3,208	1.9	1,507
河南町	2.3	1,606	23.8	2,487	1.8	1,585
能勢町	2.4	1,613	24.9	2,273	1.5	1,587
計	2.6	1,202	17.1	3,140	2.2	1,147

平成18年度大阪府生活習慣病医療費統計(ダウエスト版)より

本市では、生活習慣病対策として老人保健法制定(昭和57年)の翌年度から糖尿病の予防・改善に重点的に取り組んできた。これらの経緯を踏まえ大阪府国民健康保険における平成18年5月診療報酬(レセプト)の糖尿病を主傷病とする1件当たり日数と1日当たり点数の市町村別医療費を一覧表にしてみた(1日あたりの点数の低い順)。

レセプト点数は主傷病の影響が大きいので、主傷病が糖尿病のみのレセプト132,269件を対象とした。まず、1件当たり日数(大阪府平均2.6日)をみると、忠岡町・大阪市・大東市・守口市・泉佐野市・柏原市・門真市・東大阪市などが高かった。一方、1日当たり点数(大阪府平均1,202点)をみると、能勢町・河南町・富田林市・大阪狭山市・四條畷市・大東市・豊能町・千早赤阪村・交野市・田尻町・太子町などが高かった。また、1件当たり日数・1日当たり点数ともが高かったのは、大東市、門真市、忠岡町などであった。

すなわち、1件当たり点数=1日当たり点数×1件当たり日数であることから、1日当たり点数(言わば単価)が高い地域構造と1件当たり日数(言わば受診頻度)の高い地域構造があることがわかる。

生活習慣病の1つであり近年注目されているメタボリックシンドロームは糖尿病対策と言っても過言ではなく、糖尿病が主傷病のレセプトが注目されている。

本市の特徴として、外来における1件当たりの日数は大阪府平均の2.2日より低く下から5位タイ(吹田市・交野市・富田林市・大阪狭山市・島本町・千早赤阪村)である。一方、1日当たりの点数は、府平均1,147点を下回り976点と最も低い。つまり、医療費が最も低い状況にある。このことは、診療日数が最も少ないわけではないが、点数が最も低いのは、重症化に陥ることなく糖尿病のリスクファクターが見つければ直ちに治療につながっていることがうかがえる。これは、基本健康診査で生活習慣病のスクリーニングを実施し、要医療であれば医療機関で医療(治療)を行い、要指導であれば受診医療機関での保健指導及び健康増進課実施の血糖コントロールセミナー等へ紹介など早めに糖尿病対策を実施していること事が一因と考えられる。

健康みのお 2 1 中間評価策定のための会議経過

日 程	会議名	内容
平成 19 年 2 月 2 日	課内代表者会議	中間評価策定の目的・方法・内容等の検討
平成 19 年 2 月 7 日	保健師・栄養士・歯科衛生士会議	中間評価策定にむけての役割分担 母子保健・成人保健・高齢保健・基盤整備
平成 19 年 2 月 15 日	母子保健・基盤整備担当者会議	母子保健・基盤整備目標の達成度評価と 22 年度までの目標の設定について検討
平成 19 年 2 月 19 日	成人保健担当者会議	成人保健目標の達成度評価と 22 年度までの目標の設定について検討
平成 19 年 2 月 21 日	母子保健・基盤整備担当者会議	母子保健・基盤整備目標の達成度評価と 22 年度までの目標の設定について検討
平成 19 年 2 月 22 日	高齢保健担当者会議*	高齢保健目標の達成度評価と 22 年度までの目標の設定について検討
平成 19 年 2 月 23 日	保健師・栄養士・歯科衛生士会議	母子保健・成人保健・基盤整備における達成度評価と 22 年度までの目標の設定について調整
平成 19 年 2 月 26 日	課内代表者会議	母子保健・成人保健・基盤整備について、中間評価（案）の検討 序文・参考統計資料について検討
平成 19 年 2 月 28 日	成人保健担当者会議	成人保健について中間評価（案）検討
平成 19 年 3 月 1 日	高齢保健担当者会議*	高齢保健について中間評価（案）検討
平成 19 年 3 月 8 日	成人保健担当者会議	成人保健について中間評価（案）検討
平成 19 年 3 月 9 日	保健師・栄養士・歯科衛生士会議*	母子保健・成人保健・高齢保健・基盤整備について、中間評価（案）の検討
平成 19 年 3 月 13 日	高齢保健担当者会議*	高齢保健について中間評価（案）検討
平成 19 年 3 月 13 日	課内代表者会議	中間評価最終案について検討

*については、高齢福祉課保健師も会議に出席

健康みのお21中間評価

平成19年(2007年)10月

発行 箕面市

編集 健康福祉部 健康増進課

〒562-0014 箕面市萱野5丁目8番1号

TEL 072(727)9502

FAX 072(727)3539

印刷番号

19-22

本文再生紙を使用しています。